

【取り組み機関】

事業	目的・概要	受託機関	委託機関
持続可能な社会づくりを担う事業型環境NPO・社会的企業中間支援スキーム事業	道内の環境系NPO等が、公的資金のみに依存しない事業型NPO、社会的企業として発展していくために必要なノウハウの取得方法や、全国に普及しうるビジネスモデル創出のための事業計画策定の支援を行う。	環境省北海道環境パートナーシップオフィス (EPO北海道)	環境省 北海道地方環境事務所
社会的課題解決推進事業 (ふるさと雇用再生特別対策推進事業)	NPO法人等5団体に委託し、社会的課題解決に取り組みながら、新たな雇用を生み出す事業 (高齢者の御用聞き事業、環境配慮コンサルティング事業、引きこもりの若者の社会参加支援事業の3分野) を行っている。	NPO法人等5団体	札幌市
コミュニティ・ジョブ支援事業	NPO法人等の地域貢献活動を行う団体での就業またはNPO法人等を起業する若者や中高年に対し、NPO法人についての情報提供や職場体験の提供を行う「地域貢献活動分野促進センター(コミュニティ・ジョブ支援センターさっぽろ)」を運営している。	NPO法人 北海道NPOサポートセンター	厚生労働省
北海道コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス協議会 (略称: "北の小あきないを応援する" EZO☆Biz)	コミュニティビジネス (CB)・ソーシャルビジネス (SB)の発展による新産業の創出及び地域活性化を図るため、事業者、経済団体、金融機関、支援機関、行政等の協力・連携の場として設立し、活動展開している。	はまなす財団	経済産業省 北海道経済産業局
住民参加型起業支援ネット形成事業 (ふるさと雇用再生特別対策推進事業)	道内のCBSBの起業促進に向けて、起業家予備軍及び起業を支援しうる地域の関係者(行政、経済団体、企業、地域住民)の掘り起こしや彼らをコーディネートする起業支援コーディネーターの人材育成及び道内6地域でのCBSBの普及啓発事業を行っている。	㈱北海道二十一世紀総合研究所・NPO法人 札幌ビズカフェ	北海道

【会場】



TKP きょうさいサロン

札幌市中央区北4条西1丁目
JR札幌駅南口より徒歩5分
地下鉄東豊線さっぽろ駅21番出口より徒歩1分

問い合わせ先 札幌市市民自治推進室 TEL(011)211-2964
はまなす財団 TEL(011)205-5011

ウェブサイト <http://www.hamanasu.or.jp> から
申込書がダウンロードできます

参加申込書

申込締め切り 2010年2月19日(金)

申込書送信先 FAX: 011-218-5156

札幌市市民自治推進室
e-mail: cbsb@hamanasu.or.jp

ふりがな
お名前

お申し込み日 月 日 ご所属

TEL FAX

E-mailアドレス

参加希望プログラム (参加を希望されるプログラムに☑を入れてください)

基調講演

分科会 (参加を希望される分科会について、各時間帯毎に一つのプログラムに☑を入れてください)

	EPO北海道	札幌市	NPO法人 北海道NPOサポートセンター	EZO☆Biz (はまなす財団)	㈱21総研・ NPO法人 札幌ビズカフェ
15:30 ~ 16:00	札幌市 NPO法人 エコ・ モビリティ サッポロ <input type="checkbox"/>	札幌市 NPO法人 北海道 グリーンファンド <input type="checkbox"/>	札幌市 NPO法人 農業塾 風のがっこう <input type="checkbox"/>	白老町 高齢者コミュニティ ビジネス「麻の会」 <input type="checkbox"/>	岐阜市 NPO法人 G-net <input type="checkbox"/>
16:10 ~ 16:40	下川町 NPO法人 森の生活 <input type="checkbox"/>	札幌市 環境NGO ezorock <input type="checkbox"/>	小樽市 NPO法人 北海道職人義塾大学校 <input type="checkbox"/>	室蘭市 輪西中核施設 協同組合 <input type="checkbox"/>	帯広市・函館市 NPO法人コミュニティ シンクタンク あうず インクルージョン友の会 <input type="checkbox"/>
16:50 ~ 17:20	浜中町 NPO法人 霧多布 湿原トラスト <input type="checkbox"/>	座談会 <input type="checkbox"/>	札幌市 NPO法人 花風 <input type="checkbox"/>	浦幌町 ㈱ ノース プロダクション <input type="checkbox"/>	㈱21総研・NPO法人 札幌ビズカフェ <input type="checkbox"/>

交流会 (会費1,000円・参加自由)

小さな商いで地域を元気に!

コミュニティビジネス
ソーシャルビジネス

5 団体連携フォーラム

平成22年2月25日(木) 14:00~18:30

TKP きょうさいサロン 7・8階 / 5会場
(札幌市中央区北4条西1丁目 共済ビル)

- 主催 環境省北海道環境パートナーシップオフィス (EPO北海道)、札幌市、EZO☆Biz (はまなす財団)
NPO法人北海道NPOサポートセンター、(株)北海道二十一世紀総合研究所・NPO法人札幌ビズカフェ
- 後援 北海道経済連合会、社団法人北海道商工会議所連合会、北海道商工会連合会
- 実行委員長 河西邦人 (札幌学院大学教授)

ご挨拶



実行委員長
河西邦人 (札幌学院大学教授)

「社会貢献をビジネスで実現する」、コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスが今、多様な課題を抱える世界で注目されています。このフォーラムでは新しい潮流であるコミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに出会い、新しい社会を予感させてくれるでしょう。

基調講演

株式会社 いろいろり 代表取締役社長 横石知三氏

人は誰でも主役になれる

「葉っぱビジネスとは「つまもの」、つまり日本料理を美しく彩る季節の葉や花、山菜などを販売する農業ビジネスのことです。」

「伝説の上勝町」葉っぱの町「のういひみ」

「そうだ葉っぱを売ろう」

葉っぱビジネスのポイントは、軽量で綺麗な葉であり、女性や高齢者でも取り組める商材であること。現在の年商は二億六千万円。中には、年収一千万円を稼ぐおばあちゃんもいます。それを支えるのはPC(フロッピーディスク、ネットワーク)。決まった数量を毎日出荷するものではありません。おばあちゃん達はPCを駆使し、全国の市場情報を取集して自らマーケティングを行い、葉っぱを全国に出荷するのです。PCでは自分が町で何番目の売上を上げているかの順位等も分かるようになっており、こういったビジネスモデルの全てが良い刺激になり、更なる発展へつながっています。



徳島県上勝町

東京生まれ、外資系金融機関での勤務を経て、1997年から北海道民になる。現在、札幌学院大学経営学部教授。北海道公益認定等審議会会長をはじめ、地方自治体の公職を多数歴任。北海道NPOバンク理事。

14:00

実行委員長あいさつ

会場 芙蓉 (8F)

14:10
~
15:10

【基調講演】

人は誰でも主役になれる ~そうだ葉っぱを売ろう~



株式会社いどり
代表取締役社長 横石知二氏

2002/アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー日本大会特別賞受賞
2002/地域活性化貢献特別賞 受賞
2003/日本ソフト化大賞 受賞
2005/日経情報化大賞 CANフォーラム賞 受賞
2005/フィランソロビー大賞特別賞 受賞

会場 芙蓉 (8F)

機関

EPO北海道

札幌市(社会的課題解決推進事業受託団体)

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

EZO Biz (はまなす財団)

(株)21総研・NPO法人札幌ビスカフェ

会場

竹

(7F)

飛鳥

(7F)

梅

(7F)

高砂

(8F)

弥生

(8F)

15:30

16:00



環境とビジネス! 2兎を追うペロタクシー

NPO法人 エコ・モビリティ サッポロ
代表 栗田 敬子

札幌市

ゼロの状態から始まったペロタクシー事業の起業。広告募集や関係者との調整など、課題の多い中でどう起業に結びつけ、ロケットスタートを切ることができたのか?関わった人が応援団になってもらうヒントをお話します。

地球温暖化防止の観点から、環境に配慮した交通手段を活用したまちづくりに貢献するため「ペロタクシー」の運行を札幌市で2008年4月から開始しました。市民、企業、行政と連携して「ペロタクシー」に賛同したすべての人々の願いを形にしたいと考えています。
<http://velotaxi-sapporo.jp/>



市民と企業をつないで 地域環境力をUP

NPO法人 北海道グリーンファンド
事業企画チーム・サブマネージャー
小林 ユミ

札幌市

グリーン電力証書、カーボンオフセットや環境に優しい商品をPRした「えこいち」事業など、市民や企業が参加できる環境配慮活動を紹介しながら活動をお話します。

「コーヒー1杯分の基金で地球にやさしい未来をつくらう」を合言葉に、グリーン電気料金制度をはじめ、市民風車、省エネルギー・自然エネルギー普及啓発、環境価値の取引などに取り組んでいます。市民や事業者の環境配慮に役立つしくみや機会を提案、実践することで、地球温暖化のない未来に向け活動しています。1999年設立。会員数1150名。
<http://www.h-greenfund.jp/>



農業の担い手を育てる ~農業と繋ぐ産業(6次産業)を生み出す~

NPO法人 農業塾 風のがっこう
専務理事 長谷川 豊

札幌市

農業について、起業したい人、生産法人等に就職を希望する人、農業を習得していただきます。また、小中高生、大学生、障がい児等に農業や環境保全の重要性や職業としての農業を認識してもらうために地域と連携しインターンシップの場を設定します。その他、リサイクル農業や安心・安全のための農業についての調査研究、普及啓発を行います。
<http://www.kaze-school.com/index.html>

農業経営を目指す若者を研修生として受け入れ、起業としての農業を習得していただきます。また、小中高生、大学生、障がい児等に農業や環境保全の重要性や職業としての農業を認識してもらうために地域と連携しインターンシップの場を設定します。その他、リサイクル農業や安心・安全のための農業についての調査研究、普及啓発を行います。



一流シェフ(主婦)の 手づくり料理が、 ヒトを元気にする!まちを変える!!

高齢者コミュニティビジネス「麻の会」
代表 小澤 トキ子

白老町

商店街の空き店舗でウドやタケノコといった地元食材を活かした料理を提供するコミュニティレストラン「白老グランマ」を開店しました。スタッフの平均年齢は70歳。長寿パワーで、町、商工会、商店街をも巻き込んで、地域を元気にしています。

地域のおばちゃん達が持つ、白老の山の幸(山菜・野草)に対する豊富な知識・経験を活かした、健康的で美味しくからだに優しい山菜料理を提供する「山菜料理の店 グランマ」を昨年6月からオープン。高齢者による商店街賑わいの創出・コミュニティビジネスの実践を目指し、笑顔絶えない活動をしています。



若者と地域を繋ぐ 岐阜の地域活性化

NPO法人 G-net
秋元 祥治

岐阜市

岐阜における地域活性化に向けた若者の参画の重要性やその効果、ホンキ系インターンシップ事業や女性・シニア・若者の社会起業やコミュニティビジネスの創業支援事業等を通じた地域のコーディネーターあるいはプロデューサーとしての役割、重要性についてご報告します。

日本で最もチャレンジにやさしいまち・岐阜を実現し、「思いを言葉にし、言葉を行動に変えていく」起業家的・創造的人材の育成を目的に2003年G-netを設立(05年NPO法人格取得)。経済産業省のモデル指定を受け、地方都市初となる長期実践型「ホンキ系インターン」事業を中核事業として展開し、幅広い関係者との連携を通じたビジネスモデルが全国的な注目を集めている。
<http://www.gifist.net/Default.aspx>

休憩時間・会場移動

休憩時間・会場移動

16:10

16:40



森の恵みの活用で 地域に利益を!

~エッセンシャルオイル『フブの森』誕生まで
NPO法人 森の生活
代表 奈津 恵一郎

下川町

下川町森林組合から受け継いだ精油事業を発展させるために、ブランド化した『フブの森』。大量生産、大量消費ではなく、森の恵みに応じた生産体制と販売を図った、無理をしないビジネスモデルについてお話します。

森を活用した多様な活動を通じて参加する人々の健康的で豊かな生活の創造、環境教育の促進を図り、農山村地域の活性化、地球環境の保全に寄与することを目的として活動しています。森のツーリズム、セラピー、北海道モミ精油の製造販売、宿泊施設の管理運営などを行っています。
<http://forestlife.dreamblog.jp/>



イベントにおける 環境対策活動のこれまでと今後

~エコイベント専門オンラインショップの展開~
環境NGO ezorock
代表理事 草野 竹史

札幌市

環境配慮型イベントのあり方について、これまで実践してきた事例紹介とオンラインショップの開設、廃棄物を活用したエコ・プロモーションの展開など、今後の取り組みを説明します。

持続的な北海道を創る次の担い手を育てるために、様々な環境活動を通して、人が育つ仕組みづくりを行っている環境団体。2001年設立。設立時よりイベントにおける環境対策活動を展開。数万人規模の音楽フェスティバルから、商店街・町内会のお祭りまで、幅広く活動を行っています。
<http://www.ezorock.org/>



異業種ものづくり 職人による 産業体験型観光の実践

NPO法人 北海道職人義塾中学校
事務局長 藤田 和久

小樽市

厳しい経済不況のため本業が縮小するなか、異業種の職人たちが観光産業に新規参入していった過程、ノウハウの開発、他地域への拡大についてお話します。

異業種の職人による製作体験学習の実施、産業体験型観光の促進・他地域移転などを行っています。「地域の職人」を中心に据えた活動が、職人仕事の認知度の向上、職人の活躍の場の開拓、後継者の発掘、子どもたちのキャリア教育、そしてさらには、地域の新しい観光コンテンツ創造と地域活性化という、複数の価値の創造につながっています。「第2回ものづくり日本大賞経済産業大臣賞」「ソーシャルビジネス55選」に選定されました。
<http://www.hk-crf.jp/>



再開発事業「暮らしの広場」 実現へのプロセスと考え方

輪西中核施設協同組合
松永 英樹

室蘭市

室蘭市の輪西地区におけるまちなか再生を目指した再開発事業「暮らしの広場」を実現するにあたってのプロセスや考え方の事例を報告します。

人口は最盛期の1/5、商圏人口は1/10に縮小し、商業振興策だけでは解決できない状況に直面した商業者たちは、発想を転換して「街をコンパクトにする」ことにより、街の元気回復に向けて立ち上がりました。その中核的な存在が、公共施設と商業施設が複合した「ならっと、ていつち」です。TMO、指定管理者制度、まちづくり会社・・・といった制度ができる前から、自ら創意実践してきました。2009年「新・かんばる商店街77選」に選定されました。



北海道の ソーシャル ファームについて

NPO法人コミュニティシンクタンク あうるず
専務理事 菊池 貞雄

帯広市・函館市

障がいのある方が製造する商品・サービスに、外部の人の協力・ノウハウを注入することで付加価値を高め販路拡大等を支援する「ソーシャルファーム」の考え方や昨年設立されたソーシャルファーム・ジャパンの活動内容、さらに北海道の現状についてご報告します。
<http://www.netbeet.ne.jp/~owls/>

インクルージョン友の会 島 伸一朗
私たちのプロジェクトでは、障がいのある方が中心となり「中島れんばい横丁」の活性化に取り組み、さらに、商店街の空き店舗を活用したサロン開設を核とした起業を目指しています。すべての人が「共に生きる」ことを原点とした理念のもとで、障がいのある方が起業する意義や現在の活動状況についてご報告します。
http://www.geocities.jp/inclusion_jp/project.html

休憩時間・会場移動

休憩時間・会場移動

16:50

17:20



昆布が湿原を救う! 「みんながよろこんぶプロジェクト」

NPO法人 霧多布湿原トラスト
エコツアー担当 阪野 真人

浜中町

湿原と漁業と人々の暮らし、経済性と社会性、そして環境保全のそれぞれが有機的に結びつくことで生まれるビジネス型の地域づくり。昆布の販売をキーワードに始まっている、地域参加型のプロジェクトをご紹介します。

霧多布湿原を未来の子どもたちへ残していくために、豊かな自然を尺度としたまちづくりを行っています。今年、湿原保全のための「50万坪買取キャンペーン」に1800万円を超える寄付が寄せられ活動のエネルギーとしています。
<http://www.kiritappu.or.jp/>



座談会 「環境系ソーシャルビジネス で飯が食えるか?!」

~環境系NPOによる本音トーク

札幌市

環境系のソーシャルビジネスで収入を得るためのノウハウや苦労話について、実践者(NPO法人北海道グリーンファンド、環境NGO ezorock)が参加者の質問に答えながら、活動状況の実態をお話します。

自然エネルギー普及活動などで事業型NPOとしての実績のあるNPO法人北海道グリーンファンドとエコイベントオンラインショップの開設などで事業型NPOへと発展し続けている環境NGO ezorock。両団体の対談を通して、環境NPOがソーシャルビジネスを行うためのヒントをつかんでみませんか。



地域で暮らすために 必要なもの

NPO法人
在宅生活支援サービスホーム 花風
理事長 木村 美和子

札幌市

これまでの活動実績や「ばりあふりーショップ花風」の取り組み、認知症高齢者の雇用、小規模多機能エリア構想についてお話します。

「なりたい自分になる」を理念として活動しているNPO法人です。認知症高齢者を主な対象者とした下宿や認知症高齢者・障がい者が働き、かつ安心して買い物や食事ができるショップを中心とした活動を行っています。
<http://www.13.plala.or.jp/hananagi/>



都市と農山漁村を繋ぐ プロデューサーの役割

株式会社ノースプロダクション
近江 正隆

浦幌町

地域活性化には、生産者と消費者の交流、農山漁村と都市との交流を通じお互いの立場を理解し、足りない部分を補い合っていく共生の関係を築き上げることが重要だと考えています。そのための仕掛け・仕組みを構築する地域活性プロデューサーの役割についてお話します。

東京都出身。1989年、浦幌町に移住し水産加工業を開始。ネットショップ「旬の逸品やさん」が2003年「楽天年間ランキング魚部門」で1位に。その後、生産者と消費者の交流によるまちづくりNPO法人『日本のうらほろ』を設立。浦幌の子供たちへ地元の魅力を伝える教育活動等を開始。2008年農家と漁師を応援する企画会社「株式会社ノースプロダクション」を設立。
<http://www.north-production.co.jp/>



起業支援 コーディネーターに 求められるものとは? (OJTの結果報告)

(株)北海道二十一世紀総合研究所
相原 真樹、古川 朱里、成田 諒

将来、地域のCBSBの起業支援コーディネーターとして活動するために必要な資質、ノウハウの習得、起業支援に必要な人的ネットワークの構築に向け、取り組んできた道内出身の3名の若者が、活動結果やコーディネーターの役割と必要性、今後の展開についてご報告します。

北海道では、今年度から実施している住民参加型企業支援ネット形成事業の一環として、起業支援コーディネーターの人材育成をおこなっています。起業支援コーディネーターとは、起業家の掘り起こしと起業を支援するサポーターのネットワークを構築・活用し、コミュニティビジネスの起業やビジネス化を促進するプラットフォームを担う人材です。

休憩時間・会場移動

休憩時間・会場移動

17:30

18:30

交流会 (会費1,000円・参加自由) 会場 松 (8F)